

情報公開文書

研究の名称	DUES 患者に対する眼瞼下垂手術の効果
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	眼科 講師 柚木達也
研究の概要	<p>【研究対象者】 2016年1月から2023年3月の期間に緑内障点眼によってDUESおよび眼瞼下垂を発症し、富山大学附属病院で眼瞼下垂手術を行った患者さんを対象としています。</p> <p>【研究の目的・意義】 DUESを伴った眼瞼下垂患者において、術前後のmargin reflex distance(MRD) -1を検討し、さらに前眼部OCTを用いて角膜形状の変化を検討します。DUES患者における眼瞼下垂治療手術の有効性、術後角膜形状の変化を検討することで、治療の機能的な評価に繋がります。</p> <p>【研究の方法】 2016年1月から2023年3月の期間に富山大学附属病院でDUESを伴った眼瞼下垂に対して、眼瞼下垂手術を行った患者を対象とします。手術前後に眼瞼下垂の改善度と角膜形状の変化を評価します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日からから2024年12月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	手術前後の眼瞼下垂の改善度を評価します。他機関への提供はありません。また、患者データは匿名化され、個人情報切り離されています。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者さんや、親族等関係者さんのご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 眼科講師 柚木達也
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者さんからの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 眼科医局 076-434-7363</p> <p>E-mail yunokiki@med.u-toyama.ac.jp</p> <p>担当者所属・氏名 眼科講師 柚木達也</p>